令 和 ７ 年 度 事 業 報 告

１．　令和７年度事業の概要

地区社協として日々の諸活動を通じ、「支え合い・助け合い」が地域住民には当たり前のものとして、互いに思い・支え合える精神を育んでいけることを願いつつ、「地域共生社会の実現」を目指し、以下に示すような活動を展開し、推進しました。

【事業の具体例】

（１） 地域福祉事業（小域福祉ネットワーク活動）

各小域福祉ネットワークの取り組みについては年々地域に定着しつつあり、更にネットワーク自体の知名度と事業をあげていく必要がある。それぞれのネットワークでは、地域性に考慮した様々な活動を行っている。

また、年に１度、五井地区内小域福祉ネットワーク連絡会議を開催しており、各小域福祉ネットワークの取り組み状況の発表や情報交換を行うことで、ネットワークの横の繋がりをつくり、他ネットワークの活動内容を知ることで、ネットワーク活動の資質向上を図る材料としていく。

【各小域福祉ネットワークの活動内容】

◎白金小学校区スマイルネットワーク

１．スクールガード支援部会

・矢野踏切、田中踏切、信号機・交差点等の危険個所での登下校時の見守り活動を実施。児童が安心・安全に登下校ができるよう、住民相互の理解と協力のもと、見守り活動に取り組んだ。

２．挨拶運動部会

・挨拶運動を通年実施。

・交通事故や不審者から児童を守り、礼儀正しい子どもに育つよう、意識改革を行った（月～金曜日　登下校時）

３．広報活動

・地域・学校へネットワークの広報活動を実施。ネットワーク活動についてチラシを作成し、町会回覧、掲示板への掲示、学校への配布により周知を図った。

４．地域福祉支援事業

・令和７年１２月２４日　防犯講習会＆交通安全講習会を開催。

５．ネットワーク会議（役員会）の実施

・定期的に役員会を開催し、事業の企画・運営を行った。

・地域課題の発掘及び課題解決に向けた検討を行った。

６．研修会・交流会

・令和８年３月２４日 ネットワーク構成員の知識と理解を深める研修会を実施。

◎わかば福祉ネットワーク

１．役員会の実施

・月に１回五井公民館で役員会を実施

２．茶話会の実施

・毎月１回、３会場（椎の実公民館、若葉集会場、川岸公民館）を巡回する形で開催している。ハンドベル演奏や健康体操、歌等で参加者と楽しむ場を作っている。

３．地域福祉支援事業の実施

・令和７年１２月２０日　五井公民館にてクリスマス会を開催。
市原警察署による講演等。

４．安心生活見守り支援事業の実施

・安心生活見守り支援活動は最低月１回、訪問員６名 対象者９名。
訪問員と対象者ともに高齢化しているのが課題。

５．登下校時の見守り活動

・小学校登下校時の見守り活動は３名が継続して活動している。交通推進隊登録を３年間継続したが、人材不足により存続が危ぶまれている。

６．防犯パトロールへの協力

７．各種研修会、講習会に参加

◎東海小・中学校区小域福祉ネットワーク

１．広報部活動

・小域福祉ネットワークの活動内容を幅広く伝えるため、町会及び各団体等に「いきいき通信」を年２回発行した。

２．高齢者部会活動

・２名の見守り希望者を２９名の安心訪問員で見守りを行った。

３．青少年部会活動

・登下校時の見守りを月１回実施した。

・児童を対象に、地区高齢者による「正月遊び・昔遊びの体験教室」を開催し、交流を通して子供たちの健全育成の推進に努めた。

４．防犯部会活動

・災害に備えた講習会・ボランティア研修会に参加した。

５．運営協議会との連携強化

・「いきいき広場」利用者のニーズに応える形での事業連携や利用しやすい環境整備に取り組んだ。（消費生活出前講座・物作り教室など）

６．会議関連

・ネットワーク定期役員会議の開催（延べ９回実施）

７．地域団体代表及び小中学校等との交流・連携について

・校長及び団体の代表との情報交換や協力により、各事業の推進を図った。

◎国府小学校区小域福祉ネットワーク

１．安心生活見守り支援事業

・毎月１～３回の見守り（訪問、日常の会話）を通じて登録者の安否確認、声掛けによる意思疎通を行った。

２．高齢者及び地域住民の参加型イベントの開催

・年末に高齢者を中心に個別訪問を行い、防犯、防災、健康に関する困りごとの聞き取りを行いながら、プレゼントをお渡しした。

３．子どもの健全育成教育の推進

・毎月１回の登校下校時の見守りを実施。児童の安全確保はもとより、 積極的な会話で挨拶のできる子どもの育成を応援した。さらには、国府小学校資源回収（年２回)、フラワー会を含めた校庭整備（年 5～6 回）の応援を行った。

４．防犯・ゴミのない地域づくりの推進

・町会との連携で、安心安全な地域づくりの実現を目指し年３回の町内防犯パトロールを実施して、防犯灯の確認、道路状況の確認、不法投棄物の確認と撤去を行い、危険の解消・安全の確保に努めた。

５．高齢者の健康寿命維持の推進

・高齢者健康体操を３拠点で開催し、参加者同士の交流と健康寿命を延ばし維持する活動を推進した。

◎五井福祉ネットワーク

１．事務局

・令和７年５月「総会」、令和７年１１月「推進委員会」を開催した。

・令和７年５月、１１月各部会を開催した

・令和７年度役員会を６回開催した。

・推進委員会にて特殊詐欺に関する講話を市原警察署生活安全課へ依頼した。

２．高齢者部会

・安心生活見守り支援事業を平田地区・本仲地区で継続して実施している。また、新田地区、波渕地区にて事業の新規拡充を図った。

３．サロン事業の実施

・平田地区を中心としたサロン活動を開始した。体操、レクリエーション、会話などを中心に、年間１７０名が参加した。

４．子ども部会

・五井小学校において「朝のあいさつ運動」を実施した。

・五井小学校の１年生「昔遊び」の授業を支援した。

５．防犯部会

・上総更級公園の防犯パトロールを実施した。

・市防犯協会五井支部主催の防犯パトロールに参加協力した。

６．広報部会

・年２回の広報紙を発行した。

・広報紙発行に伴う編集会議や取材活動を実施した。

◎京葉福祉ネットワーク

１．安心生活見守り支援活動

・高齢者の定期的な見守り活動として、見守り訪問希望者への訪問活動を実施した。

・広報紙による見守り訪問希望者や安心訪問員募集の声掛けを実施した。

・令和７年度訪問活動実績は対象者１１名、訪問員４０名、延べ訪問回数１３６回

・安心訪問員のフォローアップ研修及び基礎研修会を開催した。
基礎研修会：（９月９日）１１名受講し、新たに５名が訪問員に登録。
フォローアップ研修会：（１１月９日）１８名が受講。

・フォローアップ研修後に講師を囲んで情報交換会を実施した。

２．子どもたちの見守り支援活動

・スクールガード交代者にベストと雨合羽、講習会テキストを配布。

・１１月５日にスクールガード講習会を実施し、２９名が参加。

・「地域主体の子ども見守り強化事業」の新任者研修会を開催し、１９名が参加。このうち１５名が訪問員となり、４家庭に対し訪問を実施した。

３．地域防犯パトロール活動

・各町会で実施している夏祭り等での防犯パトロールの支援を実施した。

４．環境美化活動

・地域で行っている植樹升の草取りや花苗の植え込み活動の支援を実施した。

５．広報紙の発行

・広報紙を９月（３００部）と３月（４００部）に発刊し地域への宣伝や支援・協力の呼びかけを実施した。

６．その他の活動

・小学校行事や五井地区社会福祉協議会、小域福祉ネットワーク連絡会等へ参加協力を実施した。

７．諸会議の開催

・総会を５月に実施。中間は１２月に書面にて開催した。

・隔月に役員会を開催し、事業計画に基づく具体的な活動計画や課題への対応策の検討を行った。

（２） 共生型サロン事業

①「子育て会１・２・３」

就学前の乳幼児とその保護者、地域住民を対象に子育て家庭支援員や民生委員児童委員・主任児童委員の方々を中心に、五井公民館職員の協力を得て、原則毎月第４月曜日に五井公民館において実施している。（令和８年度からは原則毎月第２月曜日に変更）

※１０回開催　参加者数延べ２６９名（内、子ども１４８名）

②「ふれあいサロンきずな」

高齢者、就学前の親子など地域住民の交流を目的とした、地域の誰もが参加できるサロンを五井公民館で実施した。

実施日：令和７年９月２１日

内　容：マジック・健康体操・歌・昔遊びなど

参加者：４９名（２歳から８６歳）

（３） 相談支援事業

「あったか相談所五井」

誰でも気軽に立ち寄ることのできる相談所を開設し、地区社協部会員を相談役として配置した。令和７年度も五井公民館に加えて、五井大市の地区社協出店スペースに相談所を開設した。今後も定期的な相談所の開設に加え、共生型サロンの会場や地区社協事務所の活用など、相談所の機能の充実を目指して地域住民が安心して暮らせることができるよう、努めたい。

※１１回開催　相談者数延べ１２人

（４） 子どもの居場所づくり事業

「こども食堂ごい５１」の開催

食事の提供をはじめ昔遊びや地域の方々とのふれあいなど、楽しく過ごせる場を提供することを目的として、安定した事業の継続ができた。

※五井公民館を会場として、１０回　参加者延べ１５１名（内、子ども８８名）

（５） 地域活性化事業

毎年、梨の木公園・五井中央通り周辺において開催されている「五井大市」への出店を実施した。１２月６日・７日と２日間参加し、地区社協の PR 活動と募金活動（歳末たすけあい運動）を行った。部会員の精力的な呼びかけもあり、２日間で１２４，１１２円のご協力をいただいた。

また、当日はあったか相談所の出張版として相談所ブースも設置し、２日間で１０件の相談を受けた。

（６） 福祉教育推進事業

前年度に引き続き、児童・生徒対象に、高齢者・障がい者疑似体験（バリアフリー出前講座、車いす体験、アイマスク体験等）を実施した。実施に当たっては、小域福祉ネットワークにも協力をいただいた。

また、五井地区内の各学校とも連携を図りながら、地域全体を花いっぱいで明るくするために、球根や肥料等を五井地区内の各小・中学校、高等学校及び小域福祉ネットワークに配布を行い、地域への普及活動として展開している。

（７）地域福祉推進事業

令和８年３月１９日、五井地区内小域福祉ネットワーク連絡会を開催した。

６つの小域福祉ネットワークの代表者が一堂に会し、それぞれの活動の情報交換を通じて、今後の活動の参考にしていただく良い機会となった。

（８）日常生活支援事業

公的サービスでは行き届かない日常生活上のちょっとした困りごとに対して、地域に住む住民が、お互いさまで支え合う活動をおこなうもので、「せいかつ支援ごい５１」として、試行的に実施した。

実績：相談件数１０件　依頼完了件数６件

成果：五井地区での需要の高さが伺え、関係者への周知活動を行い、来年度の本格実施に向けた周知が進んだ。

（９）広報活動

五井地区社協の広報紙「つくし」を、年に２回（７月・１月）地区内町会回覧において配布及び回覧の依頼をした。

地域住民の方々や関係団体へ配布することによって、地区社協活動の内容を周知する機会となった。

(10) 地区行動計画策定・推進事業（五井地区行動計画推進委員会）

五井地区の地域特性に応じた地域福祉活動を推進するための基本的な方針となる「五井地区行動計画」を策定している。

市原市では、令和８年度から「市原市地域共生社会推進プラン」が改定されることに伴い、市原市社会福祉協議会においても「第６次地域福祉計画」の考え方を継承しながら、「第７次地域福祉計画」が策定された。

五井地区でも市原市社会福祉協議会と連携しながら、「第２次五井地区行動計画」を改定し、「第３次五井地区行動計画」として推進することとした。そこで、令和７年度において「五井地区行動計画推進委員会」を設置し、「第３次五井地区行動計画」の改定作業を実施した。

(11)　高齢者地域支え合い事業（五井地区第２層協議体）

地域全体で支える仕組みづくり（地域包括ケアシステムの構築に向けた環境整備）を進めるための「話し合い・議論の場」を行う組織として設置された、「ごいの未来を考える会（五井地区第２層協議体)」は、地域の課題・ニーズをより一層把握し、それらのニーズの解決策の一つとして、日常生活支援事業の試行実施に向けた協議を実施した。

(12) その他

関連会議・事業関係の詳細は別紙参照

２．会議関係

月	会 議 名	内　　容
4	第1回三役会	・ 理事会・総会の提案事項について
	第1回役員会	・ 理事会・総会の提案事項について
	第1回理事会	・ 総会の提案事項について
5	総　　会	・ 令和6年度事業報告について ・ 令和6年度収支決算報告、地域福祉基金会計報告について ・ 令和6年度会計監査報告について ・ 五井地区社会福祉協議会部会規程の一部改正(案)について ・ 令和7年度役員・理事・評議員の改選(案)について ・ 令和7年度事業計画(案)について ・ 令和7年度収支予算(案)、地域福祉基金予算(案)について
8	第1回五井地区行動計画推進委員会	・ 第2次地区行動計画の改定について
9	第2回三役会	・ 先駆的・開拓的事業補助金申請における事業内容の検討
	第2回役員会	・ 先駆的・開拓的事業補助金申請における事業内容の検討
10	ごいの未来を考える会 (第2層協議体) 五井地区行動計画推進委員会合同会議	・ 日常生活支援事業進捗状況の共有 ・ 第3次五井地区行動計画骨子(案)について
11	第3回三役会	・ 先駆的・開拓的事業補助金申請における事業内容の検討
		・ 第3次地区行動計画の作成について
	第3回役員会	・ 先駆的・開拓的事業補助金申請における事業内容の検討
		・ 第3次地区行動計画の作成について
12	第3回五井地区行動計画推進委員会	・ 第3次地区行動計画の素案について
3	第4回三役会	・ 令和８年度総会について
	ごいの未来を考える会 (第2層協議体) 五井地区行動計画推進委員会合同会議	・ 日常生活支援事業仕組み検討委員会進捗状況 ・ 第３次五井地区行動計画完成版（案）について
	第4回役員会	・ 令和８年度総会について

３．事業関係

月	事　業　名	内　　容
通　年	子どもの居場所づくり事業	☆「子ども食堂」の開催 食事の提供をはじめ、昔遊びや地域の方々とのふれあいなど、楽しく過ごせる場の提供を目的として開催。（会場：五井公民館） 全10回開催　参加者数延べ：151名（内、子ども88名）
	共生型サロン事業	☆「子育て会1・2・3」 子育てについて悩みを持つ親の相談会、交流会及び講習会を開催するなど子育てを支援するため、子育て会1・2・3を行った。 会　場：五井公民館　　10回開催(8月・1月はお休み) 参加者数延べ：269名(内、子ども 148名)
	相談支援事業	☆「あったか相談所五井」 誰でも気軽に立ち寄ることのできる相談所を開設し、 地区社協部会員を相談役として配置した。 会場：五井公民館、五井大市　11回開催　相談者数延べ：12人
	地域主体の子ども見守り強化事業	7月13日新任者研修会を開催し19名が参加。このうち、15名が訪問員となり、今年度対象の４家庭に対し見守りを実施
	小域福祉ネットワーク活動支援	☆白金小学校区スマイルNW　☆わかば福祉NW ☆東海小・中学校区小域福祉NW　☆国府小学校区小域福祉NW ☆五井福祉ネットワーク　☆京葉福祉ネットワーク
	日常生活支援事業（試行実施）	公共サービスでは行き届かない日常生活上のちょっとした困りごとに対し、地域住民がお互いさまで支え合う「せいかつ支援ごい５１」として、試行実施した。（相談件数：10件　依頼完了件数：6件）
7	広報紙発行	広報紙『つくし』第39号発刊　　1,500部発行
9	ふれあいサロンきずな	高齢者、就学前の親子など地域住民の交流を目的とした、地域の誰もが参加できるサロン 内　容：マジック・健康体操・昔遊び等 参加者：49名（2歳から86歳）
12	地域活性化事業	「五井大市」へ出店し、地区社協のPR活動と募金活動（歳末助け合い運動）を行った。また、「なんでも相談所ブース」を開設し10件の相談を受けた。
1	広報紙発行	広報紙『つくし』第40号発刊　　1,500部発行
2	災害ボランティア研修	被災時の復旧活動を担う災害ボランティア活動の体制構築に向けて、災害ボランティアセンターやサテライト災害ボランティアセンターへの協力体制の構築を目的とした研修を実施。（参加者数延べ：24名）
3	人材育成事業	日常生活支援事業の立ち上げにあたり、先行地区である有秋地区と三和地区から当該事業について講義をしていただき、今後の事業の進め方の参考とすることができた。（参加者数延べ：25名）